

蒲生干潟周辺の塩分濃度 64

Table.1 2024. 5月 塩分濃度(%)

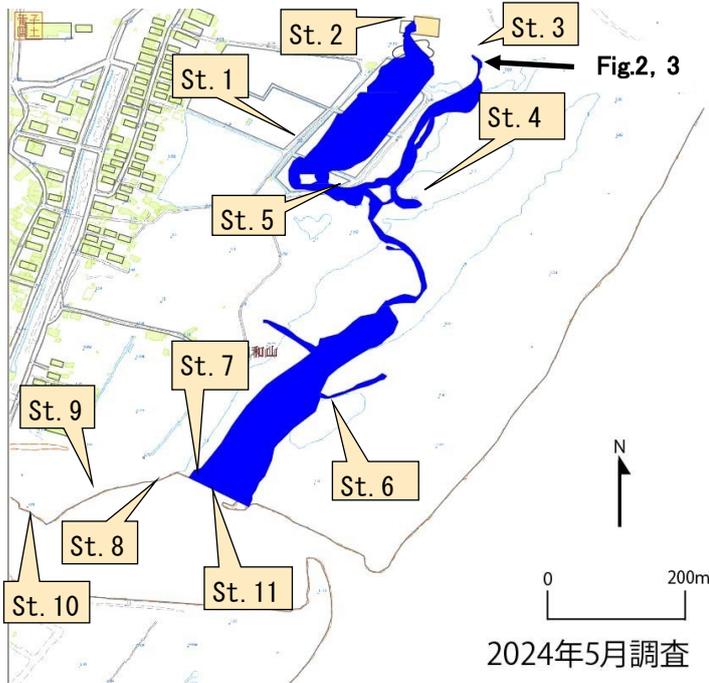


Fig.1 2024/5/14 採水点

採水点	2024 5/14	2024 4/19	増減	2023 5/18	増減
St. 1	0.5	0.7	-0.2	1.0	-0.5
St. 2	1.7	0.8	0.9	1.2	0.5
St. 3	1.0	0.8	0.2	1.5	-0.5
St. 4	2.0	1.4	0.6	2.7	-0.7
St. 5	1.6	1.2	0.4	1.5	0.1
St. 6	2.1	1.9	0.2	2.4	-0.3
St. 7	1.8	2.8	-1.0	1.9	-0.1
St. 8	2.2	3.4	-1.2	-	-
St. 9	-	2.0	-	-	-
St. 10	0.5	1.9	-1.4	0.8	-0.3
St. 11	1.8	3.5	-1.7	2.3	-0.5

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 北側最北端St.3のアシの様子



Fig.3 北側最北端St.3の水量の様子

調査日時：2024年5月14日（火）10:00~11:30（満潮 13:59 潮位 27cm），天気：はれ

満潮に向かう時間帯での調査。Fig.1に示す採水点St.1~St.11を対象に塩分濃度の測定を行った。St.9は水量が少なく、測定していない。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2024.5月塩分濃度（%）としてTable.1に記載し、前回までの調査（2024.4月，2023.5月）結果と比較した。

潟湖全体の水量は先月と同様に少なかった。北側潟湖の最北端部であるSt.3付近は、アシの成長が著しいが（Fig.2）足下には十分な水量を保っていた（Fig.3）。北側潟湖と南側潟湖の接続部分では、南側潟湖へ向けた水の流れがあった。導流堤部分は水量が少なく、湖底が露呈していた。また、河口方向へ勢いよく潟湖内の水が流れ出していた。塩分濃度については、北側潟湖のSt.2~5で、先月より高い値を示した。河口の塩分濃度（St.10）の値は前月より1.4ポイント低い値であったが、北側潟湖の塩分濃度はさほど影響を受けていないようだ。また、昨年の記録と比較すると、中央から南側潟湖にかけて（st.5,6,7）の濃度は、ほぼ変わらず安定した数値を示した。

（沼尾和弥）